

iPad 活用に関するアンケート集約

1月中旬に教員この1年で使っていた人15人・保護者有志13人にアンケートをとったものの集計。

1 はじめに…iPadに触れていただいていたかがでしたか？

何をされたかお聞かせください。複数回答OK ○をしてください。

	インターネット	メール	写真	アプリ	ナビ機能	その他
教員	11	1	5	10	2	
保護者	6	3	7	12	2	4

その他

保護者：ユーチューブ・意思伝達

2 本校におけるiPad活用の可能性についてお聞かせください。○をしてください。

	可能性がある	どちらとも言えない	可能性はない
教員	12	2	
保護者	12	1	

3 本校において、iPadを活用するために何を充実すればいいと考えられますか？

複数回答OK ○をしてください。

	ICT機器やICT教育関係の環境整備	教員の指導力（ICT教育）	授業時間の確保	子どもたちの興味関心	障害特性への理解	ICT教育研修の充実	その他
教員	9	11	2	2	2	6	2
保護者	5	6	8	4	3	2	2

その他…

教員：・社会におけるiPadの有効性拡大・目的をはっきりさせる・個々の障害特性への理解とiPad活用の意義を考え合わせる。

保護者：・教員や保護者の興味関心・自分自身がつikaiこなせていないのでわからない・ただの遊び道具としてのみ使用するのはまちがっているので親の力量も問われる。親対象の研修が必須ではないかと考える

4 本校において、iPad活用において期待できる要素についてお聞かせください。

複数回答OK ○をしてください。

	ICT機器は今後のこどもの将来に必要な	社会への関心をもたせることができる	知識を豊富にする	コミュニケーションの支援機器となる	生徒の自主的な学習をサポートできる	娯楽的要素があり余暇活動に活用できる	その他
教員	2	3	5	9	6	13	1
保護者	6	4	8	9	7	10	2

その他…

保護者：支援機としてかっこいい。・コミュニケーション機器として活用したいがそこまでつかい

きていない。・パソコンでできなかったローマ字変換を独自に覚えた。・本人の興味関心が思わぬところで発見された。・生活支援

5 本校において、iPad活用が期待できる授業についてお聞かせください。
複数回答OK ○をしてください。

	日常生活	生単	課題	社会生活	作業	総合	遊び	体育		
教員	4	9	8	3	1	7	2	2		
保護者	7	6	13	11	3	7	6	0		
	音楽	美術	給食	掃除	調理	校外学習	交流	運動会	学校祭	その他
教員	4	1	1	1	2	3	1	1	1	1
保護者	5	1	1	0	5	6	2	1	1	

その他

保護者：工夫次第でどこでも活用できる。・スケジュールの確認など

5 家庭において、ipad 活用が期待できることについてお聞かせください。
。複数回答 OK ○をしてください。

	生活支援	コミュニケーション支援	学習支援	外出支援	その他
教員	5	8	7	7	
保護者	7	7	9	5	

7 保護者のみ

お子様の変容についてお聞かせください。

	ことばが増えた	学習や活動への意欲が増した	一人で出かけられるようになった	読み書き力がついた	計算力が増した	興味関心が増えた	自主性が増えた	集中力がついた
保護者	4	1	1			7	2	3

★変容の様子をお書きください★

・興味関心をもったアプリは英語でも平気です。「バイバイ。シーユー」といいます。iPadの扱いが丁寧になってきました。カバー強化などはこちらも工夫しています。学習アプリはほとんどのアプリはレベルアップしています。昨日にある設定をしているのでPCより安心して使わせられます。予防接種やフードコートなど利用できるようになっていきました。ことばを覚えるだけでなく発音をしっかりと聞きとれるようになりました。楽しそうな様子が何よりうれしい。

・おきに入りのアプリがあってそればかりしていたふあ他のアプリにも興味が増えてきた。シャボン玉・金魚すくい・太鼓の達人・ソフト職人・チャギトン・カーズ・ボウトブーger・アプリをするときに音楽をかけながらするときがある。

・名詞をマネしようとする・しっかりみるようになった

・料理をすることも見ることも好きだと漠然とわかっていたが数あるアプリの中から本人が気に入ったアプリや内容を見る、本人が言わなくても特にどんなジャンルが好きかわかった。レシピより切り方・素材・調味料の名称などの知識を増やしていきました。関心がピンポイントでわか

るのでたすかります。興味あるカメラ機能でアルバムに保存している。アルバムを見れば本人の好きな物が一目瞭然です。担任にみてもらい本人理解のための道具になるときもあります。あまりことばを発して表現しない本人を理解するには ipad は便利な道具です。

・家庭だけだと自分の興味が100%になってしまうので学校や友達と使う機会があればふと今まで興味を持たなかった事に目覚めるかも知れないという期待がある。興味関心が増えた。カメラ撮影するのに自分なりの工夫が見られるようになった。

・自身で集中して判断力や観あげる力がついてきたと思います。アプリの種類にもよりますが抱負なので楽しみながら余暇時間が過ごせるにで理想的な時間の使い方だと思います。

・IT 機器に興味を示すようになった。

・集中力が増した・調べ学習をスムーズに自分ですすめられる。

・一人で出かけられる場所が増えた。

・先生とのメールのやりとりによりコミュニケーション力や語学力がついた

・わからにことや漢字などがすぐに調べられて便利なものであると実感している。

8 自由記述

【教員】

・以前担当した子どもで公文のカードをかさねることに楽しんでいたり、電車の中で母親がききたい講演会のせきなどでこのカードを持たせていた。もし ipad が何らかの形で暇つぶし？に使えたらいいなあと思いました。

・どう使わせるかによるが ipad が必要な生徒中心になる可能性がある。ごく普通にコミュニケーションできる生徒には必要な場面が少ない気がする。

・支援機器として活用されるように期待しています。

・ipad は今後生活の中で必需品担っていくと思うので今からどんどん ipad に触れて慣れておくことが必要

・支援者側は使って学んだ経験がないので実用性を感じていないかもしれないけれど、時代は変化しているので ICT 教育の研修をしていくべきだと思う。是非勉強したいです。

・情報端末機器や電子図書は必ず学校の生活の中で必要になってくる。コミュニケーションへの支援機になりえるし、基礎基本の学習力へのサポートへのアプリ活用も有効だという報告もある。このニーズに応じて必要なときに活用できるように学校と家庭が連携していく事が大切。環境と体制を整えて子どもたちの可能性を広げていきたい。